

Profile



キリル・ロディン (チェロ) Кирилл Родин

1963年モスクワに生まれる。1981年グネーシン記念音楽アカデミーを卒業し、モスクワ音楽院へ進んだ。ペオグラード国際コンクール(1984)、第8回チャイコフスキー国際コンクール(1986)に於いて第1位に다가やき、一躍その名を世界に知らしめた。1989年にモスクワ音楽院を首席で卒業。第12回チャイコフスキー国際コンクールで審査員を務めた。現在は世界中で演奏活動を行っている傍ら、モスクワ音楽院で後進の指導にあたっている。



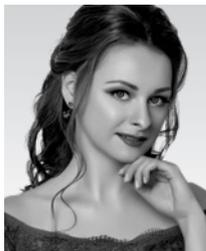
レオニード・ボムステイン (テノール) Леонид Бомштейн

1967年レニングラード(現在のサンクトペテルブルク)に生まれる。1996年にグネーシン音楽大学を卒業後、スタンニスラフスキー&ミネロヴィチ・ダンチェンコ国立モスクワ音楽劇場での活動を経て、1998年ポリシヨ劇場のソリストとなる。アイルランド、フランス、ドイツ、アメリカ、スイスを始め、世界中のオペラ音楽祭へ出演し活発な活動を行っている。現在は、演奏活動をする傍ら、母校であるグネーシン音楽大学で後進の指導にあたっている。



オレグ・ポリャンスキー (ピアノ) Олег Полянский

1968年キエフ(ウクライナ)に生まれる。キエフ中央音楽学校を経て1986年グネーシン記念音楽学校に入学する。1991年より1993年までモスクワ音楽院でS.ドレンスキーに師事する。モントリオール国際音楽コンクール(1988年)第3位、第11回チャイコフスキー国際コンクール(1998年)第6位等数多くの国際コンクールで入賞を果たす。ケルン音楽大学で教鞭をとった後、ロシア、アメリカ等世界中で演奏活動を行っている。



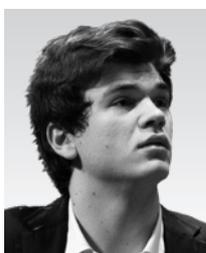
ナターリヤ・スクリャービナ (ソプラノ) Наталья Скрябина

1987年モスクワに生まれる。2008年にモスクワ音楽院アカデミック音楽カレッジへ入学し、2014年よりグネーシン記念音楽アカデミーでクズネツォフ氏に師事する。ミュージカルダイアモンド(2011年、モスクワ)第3位入賞、ミュージック・ウイズアウト・リミッツ(2013年、ロシア共和国)第1位入賞、ミュージカル・パフォーマンス・アンド・ヘタゴギー(2014年、イタリア)第1位入賞等、数々の国際コンクールでの入賞歴を持つ。2011年からグネーシン劇場のオペラスタジオでソリストを務めた。現在、ロシア国内やカザフスタン、イタリア、フランス等で音楽フェスティバルへの参加やコンサート活動を精力的に行っている。



アストヒク・サルダリヤン (ヴァイオリン) Астхик Сардарян

1993年エレバン(アルメニア共和国)に生まれる。幼少よりヴァイオリンを始め、2006年からモスクワ音楽院中央特別音楽学校で研鑽を積んだ。2012年にモスクワ音楽院に進み、S.クラフチェンコ氏に師事した。第9回青少年のためのロシアヴァイオリンコンクール(2004年、ヤロスラヴリ)第1位入賞をはじめ、フィンランド、スペイン、ギリシャ、アルメニア共和国、アラブ首長国連邦等で開催された国際コンクールで第1入賞、グランプリ受賞を果たす。モスクワ音楽院大ホールやクレムリン宮殿をはじめ、アルメニア共和国、ベラルーシ共和国等国内外で精力的な演奏活動を行い、ソリストに加え数多くのオーケストラとの共演も果たす。2017年よりモスクワ音楽院大学院に在籍しながら、母校である子供のための芸術学校(ロシア、オプンスク)で後進の指導にあたっている。日露交歓コンサートへは今回が初参加。



ニコラス・ブルドンクル (ピアノ) Nicolas Bourdoncle

1998年エクス=アン=プロヴァンス(フランス)に生まれる。ダリウス・ミヨー音楽院(エクス=アン=プロヴァンス)で父であるミッシェル・ブルドンクルに師事した後、ピエール・バルビゼ記念マルセイユ音楽院へ進んだ。2009年、11才でのオデッサフィルハーモニー管弦楽団(ウクライナ)との共演を皮切りに現在までに40回以上オーケストラとの共演を果たす。2012年、ハノイ国際コンクール第3位入賞。2015年、パリ国立高等音楽・舞踏学校において優秀な成績でディプロマを取得し、現在はジェノヴァ音楽院で研究生として更なる研鑽を積んでいる。日露交歓コンサートへは今回が初参加。



ミッシェル・ブルドンクル (ピアノ) Michel Bourdoncle

1960年マルセイユ(フランス)に生まれる。ダリウス・ミヨー音楽院(エクス=アン=プロヴァンス)を経て、世界三大音楽院の一つパリ国立高等音楽・舞踏学校でジュヌヴィエーヴ・ジョワ、ジャン・ユポ等に師事した。1984年、ヤニス・クセナキス記念アカンサス国際コンクール第1位入賞。1986年、奨学生として国立モスクワ音楽院へ留学しミハイル・ヴォスクレセンスキーに師事する。同年、第一回フランチ・リスト国際ピアノコンクール(コトベヒト)において上位入賞を果たす。その後、カーネギーホール(ニューヨーク)、モスクワ音楽院大ホール(モスクワ)、スメタナホール(プラハ)、セントリーホール(東京)、上海グランドシアター(上海)、マヒドン大学コンサートホール(バンコク)、リュブリャナ城(リュブリャナ)、テアトロ・レアル(マドリッド)、ハノイ・グランド・シアター(ハノイ)等、世界中で積極的な演奏活動を行っている。また、ジュヌヴィエーヴ・ジョワ、リュウボフィ・ティモフェーエワ、ユーリー・バシメット(モスクワ・ソリスト)、キリル・ロディン等著名音楽家との共演も数多くこなす。リヨン高等音楽院、マルセイユ音楽院で教鞭をとった後、現在はダリウス・ミヨー音楽院で後進の指導にあたっている。また、自らも地元エクス=アン=プロヴァンスで国際ピアノ音楽祭“Les Nuits Pianistiques” (ピアノスト達の夜)を主宰する。日露交歓コンサートへは1999年以降の参加。



伊東朔 (ピアノ) Hajime Ito

2003年三重県津市に生まれる。3歳よりヴァイオリン、4歳よりピアノ、5歳より作曲を始める。4歳で三重県主催のヴァイオリンコンクールにて第1位入賞。5歳でピティナピアノコンクール全国大会入賞。その後、ショパンコンクールINアジア全国大会出場、ミヨネットピアノコンクール全国大会2位入賞等、数多くのコンクールで入賞を果たす。また、ベニクラグ研究の第一人者である久保田信氏(京都大学)の「世界の動物40門Vol.4、5」に楽曲を提供する等多方面で活躍する。テレビ朝日「天才キッズ全員集合」アレンジ対決における作曲家の新垣隆氏等と対決は全国に放映された。更に、東京大学先端技術研究センターと日本財団による「異才発掘プロジェクトROCKET」の第4期スカラ候補生に採択され日本各地で生の演奏に触れる機会を提供している。現在、2019年8月エクス=アン=プロヴァンス(フランス)での国際音楽祭におけるリサイタルが予定されている等、積極的に演奏活動を行なっている。9歳から本格的に取り組んでいる作曲は、ピアノ曲以外にも吹奏楽、合唱曲、ボカロ等多岐に亘りこれまでの作品数は500を超える。日露交歓コンサート2018三重公演にゲスト出演した。



マリーナ・ベルドニコワ (ドムラ) Марина Бердникова

1996年クンケール(ベルミ地方ロシア)に生まれる。8歳よりドムラを始め、エカテリンブルグ特別音楽学校に進みロシア人民芸術であるM.ウリヤシュキンに師事する。2016年よりグネーシン記念音楽アカデミーに於いてエカテリーナ・マカロワに師事する。現在、同アカデミー 3学年に在籍し更なる研鑽を積んでいる。また、ズナメンスキー記念全ロシアコンクール第1位、ワシーリー・アンドレーエフ国際コンクール第2位をはじめ、数多くの国内、国際コンクールにおいて優勝、入賞歴を持つ。日露交歓コンサートへは今回が初参加。



ニキータ・ゴヴォロフ (バラライカ) Никита Говоров

1998年カザフスタン共和国に生まれる。2005年に家族でロシアへ移住した。8歳からバラライカを始め、2010年にノヴォシビルスク特別音楽学校に進み、ロシア連邦人民芸術家であるA.グレイヴィチに師事する。その後、2016年にグネーシン記念音楽アカデミーに進み撥弦民族楽器科主任教授であるA.ゴルバチョフに師事する。現在、同アカデミー三学年に在籍し更なる研鑽を積んでいる。これまでに、20を超える国内・国際コンクールにおいて、その全てで優勝、グランプリ又は金賞を受賞した若き天才である。ゴルバチョフ教授曰く、「彼は既に私を超えている」。

クラシックって楽しいな! (2015~)

当協会では、より多くの皆様にクラシック音楽を身近に感じて頂くことを目的に、クラシック音楽に関連する面白い情報を掲載したパンフレットを作成し、日本全国約1,250箇所の音楽ホールや日露交歓コンサートの会場、当協会のホームページ(<http://www.imea.or.jp/>)を通じて広く国民の皆様へ配布しています。このパンフレットは宝くじの公益法人助成事業(社会貢献広報事業)として一般財団法人日本宝くじ協会より助成を受けています。

